

対象年度		令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		污水管渠建設改良事業						予算事業名		－			
予 算 科 目	会計	XX	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	下水道法				
			XX	XX	XX	XXXX	経常経費						
総合計画体系	住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう						事業の区分		主要事業				
	地球環境にやさしいまちづくり												
	生活排水の適正な処理						担当課係等		下水道課 工務係				
事業期間		継続 (年度～ 年度)											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
都市の健全な発展と生活環境及び公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を図る。							昭和40年国営鬼怒南部水利事業が決定されたことにより、それまで市街地の排水の大部分が周辺を流れる農業用水路に流入していたため、国等から排水分離の声が高まり、公共下水道を開始した。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
・生活排水を適正処理するための污水管渠新設工事（四ツ京、逆井、栄町、下小墺外） ・下水道の普及促進（接続）を図るための汚水柵新設工事							公共下水道（污水）事業認可区域内の市民						
							【事業をとりまく環境の変化】 人口は減少傾向にあるが、世帯数は増加していること、また環境面から公共下水道の接続要望は依然と高く、計画的に整備を行っていく。						
【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】					
・管渠新設（繁昌塚南地区工業団地、四ツ京、逆井、栄町外） ・汚水柵設置工事				・管渠新設（繁昌塚南地区工業団地、四ツ京、逆井、栄町外） ・汚水柵設置工事				・管渠新設（四ツ京、逆井、栄町外） ・汚水柵設置工事					
■事業費													
				R05年度		R06年度							
財源内訳	国庫支出金			2,640		30,000							
	県支出金			1,300		1,000							
	地方債			93,400		5,524							
	その他			48,027		103,290							
	一般財源			0		0							
歳入計（千円）				145,367		139,814							
歳出内訳	節（番号＋名称）				金額（千円）		金額（千円）						
	07 報償費				490		440						
	12 委託料				17,427		17,530						
	14 工事請負費				127,450		121,844						
歳出計（千円）（A）				145,367		139,814							
伸び率（％）						-3.81							
備考													

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	汚水管渠整備済延長	km	目標	191.00	192.00	193.00
			実績	191.00	0.00	0.00
	公共下水道接続検査年間件数	件	目標	80.00	80.00	80.00
			実績	86.00	0.00	0.00
成果 指標	供用開始済面積	ha	目標	840.00	845.00	850.00
			実績	840.00	0.00	0.00
	結城市の人口に対する普及率	%	目標	59.00	60.00	60.50
			実績	59.50	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	都市の健全な発展と生活環境及び公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を図るという重要な役割をもっている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	下水道法第3条により、市町村が行うものと規定されている。
	手段の妥当性	A 妥当である	適切な工法を選択している。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	関係各課と連携し、効率的な事務執行に努めている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	下水道を目的をした対象者に対しては、概ね広く便益を提供している。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	普及率は上がっている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	計画どおりに順調に進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
・汚水に関わる下水道整備事業については、財政が厳しいため事業費の確保が難しく、整備が遅れることが見込まれるため、さらに効果的な事業執行を行う必要がある。 ・中期的なビジョンを基に地域条件を考慮した綿密な計画を立て、面整備を図っていく必要がある。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
・事業実施箇所について、必要性・効率性を十分に検討し、設計段階では、工法・コストを図っていく必要がある。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 ・事業の必要性や効果を検討し、実施個所の選定を行うとともに、工法の検討や関係部署の調整を図ることにより、事業費の縮減に努め、今後も事業を継続する必要がある。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	